

## 第1回 静岡市 LRT 導入研究会

1. 開催日時 平成 23 年 9 月 30 日（金）14:00～15:30
2. 開催場所 静岡市役所 静岡庁舎 本館 3 階 第一会議室
3. 出席者 埼玉大学大学院 教授 久保田 尚  
静岡商工会議所 会頭 後藤 康雄  
静岡鉄道株式会社 専務取締役 三浦 孝文  
静岡市 副市長 清水 喜代志  
  
静岡商工会議所 専務理事 五十嵐 仁

### 4. 会議内容

#### (1) 開会

- ・副市長挨拶
- ・研究会の設立について
- ・会長選出（埼玉大学大学院 久保田教授を会長に選出。）

#### (2) 研究会

- ・静岡市のまちづくりと基幹公共交通のあり方について
- ・意見交換

#### (3) 閉会

### 5. 議事要旨

#### ○LRT の位置付け

- ・LRT の導入は交通政策として検討されることはもちろんだが、静岡市ではこれに加え「観光・交流」と「自動車に頼らない健康な街」を実現するために必要性を見出している。特に後者は、歩くこと・活動することを通じて健康を維持することにより、ひいては医療費の圧縮につながると考える。
- ・人口減少、超高齢社会に対応するため、行政コスト低減の観点からは、居住地域を生活利便性の高い地域として集約することが望ましい。このためには使いやすい公共交通機関が整備される必要がある。
- ・LRT 導入だけではなく、都市開発と一体で考え、まちの活性と LRT の採算が見込めるように考えていきたい。

#### ○LRT の導入空間及び周辺との調和

- ・道路への LRT の導入は、基本的に現行車線を減らすことに他ならない。従って、更なる自動車から公共交通への転換を促すほか、周辺地域を含めた自動車交通のコントロールが必要となる。
- ・道路交通で言えば、今後東名高速道路の長距離自動車が新東名にシフトすると、現東名や国道 1 号がこれまでより地域の自動車交通を担う割合が高くなっていく。今後、既存道路の役割も変わる中で、自動車などの路面交通に対する施策も変えていかなければならない。

- 想定される 3 ルートは、経由地や JR の横断方法などを具体的に示したものではない。したがって、それぞれの導入空間確保等の課題は今後精査していく。また、新静岡における基幹公共交通軸と静岡都心内公共交通軸の接続も現状では難しい状況にあるが、さまざまな方法で将来的に解決策を見出す検討を行っていきたい。
- LRT の導入のみで大きな旅客需要が生まれたり、地域における人の回遊が増加するものではないので、沿線の開発計画などとセットで整備されることが望まれる。
- LRT を導入するとどのような街ができるのか、どのような生活ができるのかを例示すると理解が得られやすい。
- 中心地商業地区は地中線化事業により景観を改善してきた経緯があるので、LRT の検討においては、実用性に課題があるとはいえ架線レスシステムも視野に入れるべきだろう。
- かつては静岡や清水にも市内電車がかった。何十年も前に自動車交通に譲って姿を消したが、今また自動車に頼らない街を目指すなら、皆が電車を利用していた頃を振り返ることも、親しみやすい LRT 実現の一助になるのではないか。